



Bmapsユーザー数増加に繋げる業務 実施報告書

～パラ駅伝 in TOKYO 2018 × Bmaps～

2018年3月31日

Bmapsプロジェクト ▶



Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

概要

▼ 「パラ駅伝 in TOKYO 2018」の概要

- 日時
2018年3月4日（日）開場11:00
競技開始12:30～終了15:00
- 場所
駒沢オリンピック公園陸上競技場及びジョギングコース
- 主催
日本財団パラリンピックサポートセンター
- 来場者数
17,100人
- 実施競技
駅伝 ※障害ランナーと、健常ランナーの混成チーム

▼ 本業務の目的

- 「パラ駅伝 in TOKYO 2018」の来場者に、Bmapsを案内し、ユーザー数の増加に繋げる

▼ 本業務の概要

- 「おすすめスポットマップ」を制作
- 日本航空のブースにて、上記マップを配布し、会員登録してくれた人にBmapsステッカーをプレゼント
※スタッフ3名が対応

おすすめスポットマップ



会場周辺の店舗から、障害のある方でも入りやすいお店（入口の段差が少ない店舗、スタッフの対応が優れた店舗等）を選定しました。
そして、そのような店舗をまとめたマップを制作しました。

ブース出展

本駅伝では、スポンサー企業のみが印刷物の配布を認められました。したがって、スポンサー企業である日本航空の協力を得て、同社のブースにて以下の対応を行いました。

- おすすめスポットマップの配布
来場者に配布し、会場周辺のバリアフリーなお店をご案内しました。また、マップに掲載された情報は、Bmapsでも閲覧できることを説明しました。
- Bmapsステッカーのプレゼント
Bmapsの会員登録をした方に、その場でステッカーをプレゼントしました。なお、希望者には、Bmapsの操作方法をレクチャーしました。

配布部数、インストール数・会員登録数、所感

▼ 配布部数（枚数）

【目標】

1. おすすめスポットマップ
1,000部
2. ステッカー
100枚（持参は200枚）

【結果】

1. おすすめスポットマップ
1,000部
※全量配布することができました。
2. ステッカー
131枚
※Bmapsの会員登録をしてくれた方々に配布しました。
ただし、子ども連れの方々には複数枚配布するなど、柔軟に対応しました。
したがって、ステッカーの配布枚数と会員登録数が一致していません。

▼ インストール数・会員登録数

- ・インストール：117人（iOS：68人、Android：49人）
- ・会員登録：94人（iOS：49人、Android：45人）

▼ 所感

日本航空のブースには、障害者だけでなく、子ども連れの方々も数多く来られました。そのため、ベビーカー利用者にBmapsをPRすることができました。

協賛企業（日本航空）とのコラボレーションによって、ユーザー数増加だけでなく、幅広い層にもBmapsを広められることが分かりました。今後もこの形（連携）を進めます。



Bmapsプロジェクト ▶



Supported by THE NIPPON
Foundation